

あか か や エコ 便り

第6号

あかしやエコ便りでは、「朱雀第四小学校（通称：朱四校）エコ改修と環境教育事業」をはじめ、朱四校のエコな取り組みについてご紹介いたします。

第6回環境建築研究会

- **テーマ**
基本構想案をまとめる
- **日時**
平成22年3月9日(火) 14:30~18:30
- **場所**
朱四校 多目的室
- **内容**
講義 基本構想の検討の前に「学校エコ改修と環境教育事業の趣旨を振り返る」
WS 基本構想案をまとめる①「エコ改修構想を練る」
発表 基本構想案をまとめる②「エコ改修構想を発表する」



エコフロー事業ホームページの活用
第6回環境建築研究会
朱四校巡り 第6弾



エコフロー事業ホームページの活用

朱四校環境建築研究会も今回が最終回となりました。今回の研究会が終了すると、これまで朱四校エコ改修を共に学び・考えてきたメンバーが集まる機会はなくなってしまいます。そこで、メンバー間の情報共有や朱四校エコフロー事業の進捗状況を知ることができる、エコフロー事業ホームページを活用頂ければと思います。

ホームページでは、全国のモデル校の取り組みやサポート本部からのイベント紹介、事業パンフレット等の資料を見ることもできます。また、OBの広場では研究会のメンバー情報も掲載されています。

このホームページを有効に活用して頂き、朱四校エコフロー事業の今後を見守って頂くとともに、エコの環（エコに取り組む人の環）を広げていって頂ければと思います。



エコフロー事業 HP (URLは裏面)

第6弾 朱四校巡り

ここでは、朱四校の特色ある活動や教育施設についてご紹介いたします。第6弾は、研究会の中でも紹介しました、エコ改修に対する朱四校6年生のアンケート結果についてご紹介いたします。

「もっと環境にやさしい学校にするため、朱四校にどうなって欲しい？」



エコサイエンスルームはエコサイエンスというくらいだから、今以上にもっとエコに関するものを置いて欲しい。



朱四校の窓を緑のカーテンでいっぱいにし、とても良い空気の中でクーラーの要らないようになって欲しい。



校舎や体育館の屋根にソーラーパネルをつけて欲しい。



運動場や中庭を芝生にして欲しい。



あかしやの森をもっと大きくして欲しい。



あかしやの森の池を大きくして魚を飼いたい。でも、あまり改修して変えてしまわないで欲しい。朱四校じゃないみたいな気分になるから。

など、自然から生命の大切さを学ぶ、生き方を学ぶ環境教育を行ってきた児童からは、緑や生き物に対する意見が多く寄せられました。

朱四校エコ改修も次のステップに進みます。児童や教職員、地域の方の想いを汲みとったエコ改修となって欲しいですね。

お礼

昨年の12月から約3ヶ月で全6回と、非常にタイトなスケジュールの中で開催してきた環境建築研究会も今回で終了となりました。ご参加下さった技術者の皆様、教職員や地域の皆様、座長の近本先生をはじめご講演頂いた講師の皆様、本当にありがとうございました。

今後は朱四校環境建築研究会で学んだことを仕事や生活の中に取り入れ、活かしていくとともに、エコの環（エコに取り組む人の環）を広げていって頂ければと思います。

講評

最後に、座長やアドバイザーの先生方から以下のようなご講評を頂きました。

近本先生（立命館大学）

技術者、教職員、地域住民と一緒に議論できた非常に良い機会でした。これから設計に進んでいきますが、皆と一緒に知恵を出し合い、協力して、朱四校エコ改修に取り組んでいって欲しいと思います。



津知校長先生（朱雀第四小学校）

どれもワクワクする提案ばかりでした。環境教育研究会はスタートしたばかりです。エコ改修に絡めた教育についても、これから話し合っていきたいと思っています。



松岡先生（滋賀県立大学）

“ふれあい・つながり”が共通項であると感じました。加えるだけでなく、減らす、建物に穴を開け、自然をより感じられる多孔質な空間にするのも面白いと思いました。



高柳氏（エコフローサポート本部）

どれも素晴らしい提案でした。学校エコ改修と環境教育事業なので、教育につながる提案についてもぜひ考えて欲しいです。そして、この研究会で学んだことを地域の建築に活かして欲しいと思います。



参考URL

エコフロー事業 HP: <http://www.ecoflow.go.jp/>
朱雀第四小学校 HP: <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=103305>

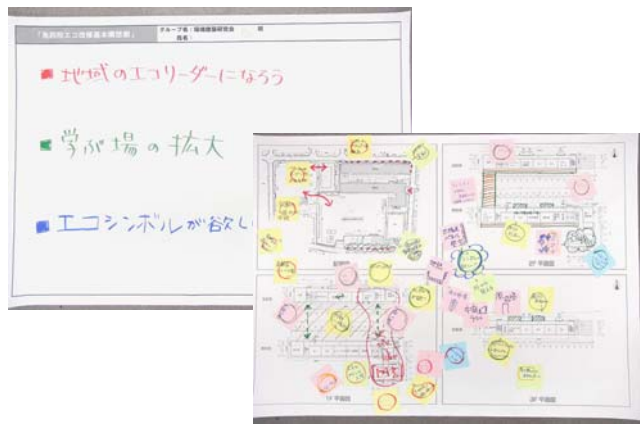
京都市教育委員会事務局

〒604-8571 京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
TEL: 075-222-3791 FAX: 075-256-3947
HP: <http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/>

株式会社創建（専任事務局）

〒456-0018 愛知県名古屋市中区熱田区新尾頭1-10-1
TEL: 052-682-5041 FAX: 052-682-3149
HP: <http://www.soken.co.jp/>

「地域のエコリーダーになろう / 学ぶ場の拡大 / エコシンボルが欲しい」



B 班

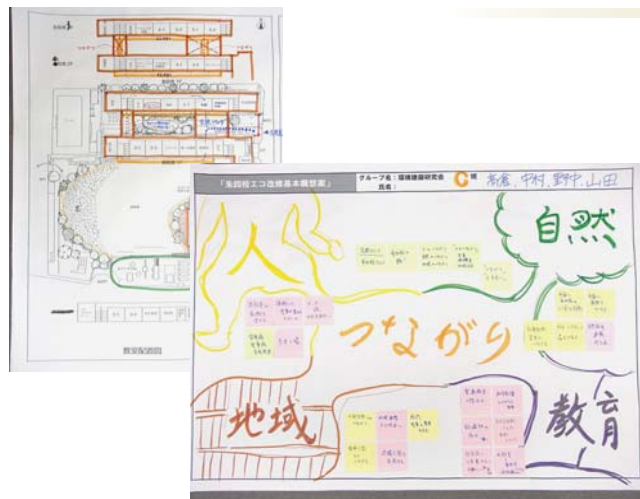
エコ改修を機会に、地域にとっても親しみのある空間とする。

子ども達の生活（学習）環境の向上も重要。屋内に教室以外でもくつろげる子ども達の居場所をつくる。

子どもや地域からも分かる、エコ改修のシンボルを設ける。

近本先生
地域の人が必然と関わる（メンテナンスする）ものを意図的に設けることで、連携強化を図る。また、エコシンボルを子ども達がつくりあげていくのも面白いと思います。

「つながり ～人・自然・地域・教育～」



C 班

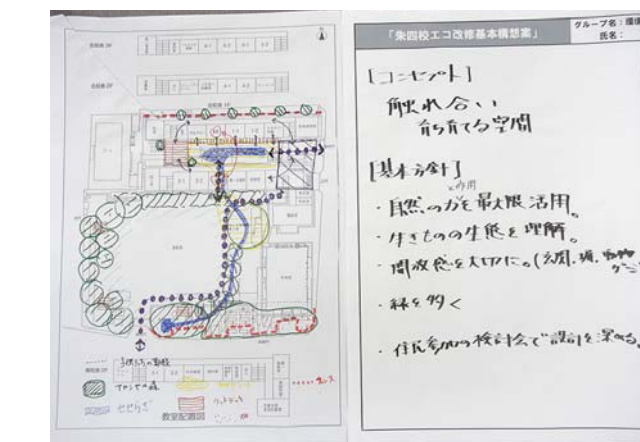
現行では廊下＝通路となっている。各校舎南側に縁側を設け、児童が移動も会話をできる居心地の良い空間にする。

北校舎は普通教室を2階以上に配置し、1階は特別教室や地域スペースとする。

あかしやの森や隣接公園を緑でつなぐ。

松岡先生
筋の通った非常に良い提案でした。地域スペースの提案もありましたが、地域とのつながりについて今後もさらにアイデアを出し合っていきたいと思います。

「触れ合い育ち育てる空間」



D 班

正門を玄関も兼ねたエコステーションとして整備する。

コンピュータ室を抜き取り、中庭と運動場をつなげる。

あかしやの森から中庭へとせせらぎを流す。

近本先生
非常に楽しく提案をお聞きしました。中庭にデッキを設けるとありましたが、内部空間とするか外部空間とするか、さらに議論を深めて欲しいと感じました。

「風と緑で明るくつながるエコの心」



E 班

自然の力を取り込み、子ども達の心や地域を明るく、エコの心を波及させていく。

北校舎1階にエコ改修の展示スペースを兼ねたコミュニティスペースを設ける。

内装材には地域産材を活用する。

津知校長先生
非常に面白い提案でした。それぞれの改修メニューにエコ改修の意義を持たせられるとさらに良くなると感じました。

基本構想の検討の前に

「学校エコ改修と環境教育事業の趣旨を振り返る」



講師
廣瀬 孝幸氏
京都市教育委員会
教育環境整備室 担当課長

環境建築研究会もとうとう最終回を迎えました。今回はこれまでの研究会（で学んできたこと）の集大成として、朱四校エコ改修の基本構想案をとりまとめたいと思います。じっくりと議論できるように、いつもより研究会の時間を長く設け、研究会はスタートしました。

まず、京都市教育委員会の廣瀬課長より、基本構想検討の前に事業趣旨の振り返りを行って頂きました。廣瀬課長からは、

児童は1日の約1/3を学校で過ごす。快適に学び、過ごせる環境となるような改修になって欲しい。

朱四校を拠点にエコ技術が普及・波及していくためにも、エコロジー&エコノミーな改修となって欲しい。

本日は朱四校の将来について、大いに夢を語り合って頂きたい。と、エコ改修や研究会に対する想いを参加者の皆さんにお話頂きました。

基本構想案をまとめる①



グループでエコ改修構想を検討

座長の近本先生、津知校長先生、アドバイザーの松岡先生が見守る中、発表がスタート

「エコ改修構想を練る」



環境建築研究会座長
近本 智行氏
立命館大学理工学部 教授

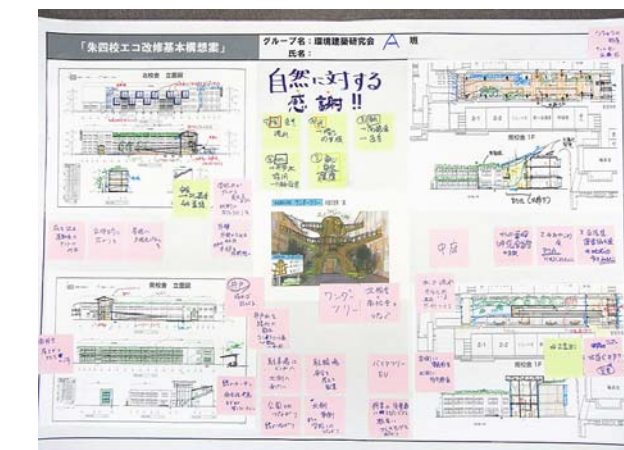
次に、事務局より冬の環境調査や宿題の整理結果、そして、エコ改修に対する朱四校6年生のアンケート結果について説明を行いました。その後、グループに分かれて、これまでの研究会の内容を踏まえた朱四校エコ改修構想の検討を行いました。各グループでは朱

四校の特徴を活かす／改善するエコ改修のコンセプトや教室配置などが議論されていました。ワークショップも終盤に近づいてくると、皆さん立ち上がりはじめ、議論した内容を整理して、模造紙や図面に朱四校の将来像を描いていきました。

基本構想案をまとめる②

「エコ改修構想を発表する」

「自然に対する感謝 ～風・光・熱・水・安心安全健康～」



A 班

中庭を半屋外空間とし、自然を感じながら生活（学習）できるようにする。

エコ改修モニタメントとして、展示空間も兼ねた「ワンダーツリー」を設ける。

児童や地域の手でメンテナンスできる範囲で、緑化を推進する。

松岡先生
中庭に集中した分、リアリティの高い提案でした。シックエンスを踏まえた回遊性の向上、ワンダーツリー、大窓のランダム設置等、非常に面白いと感じました。